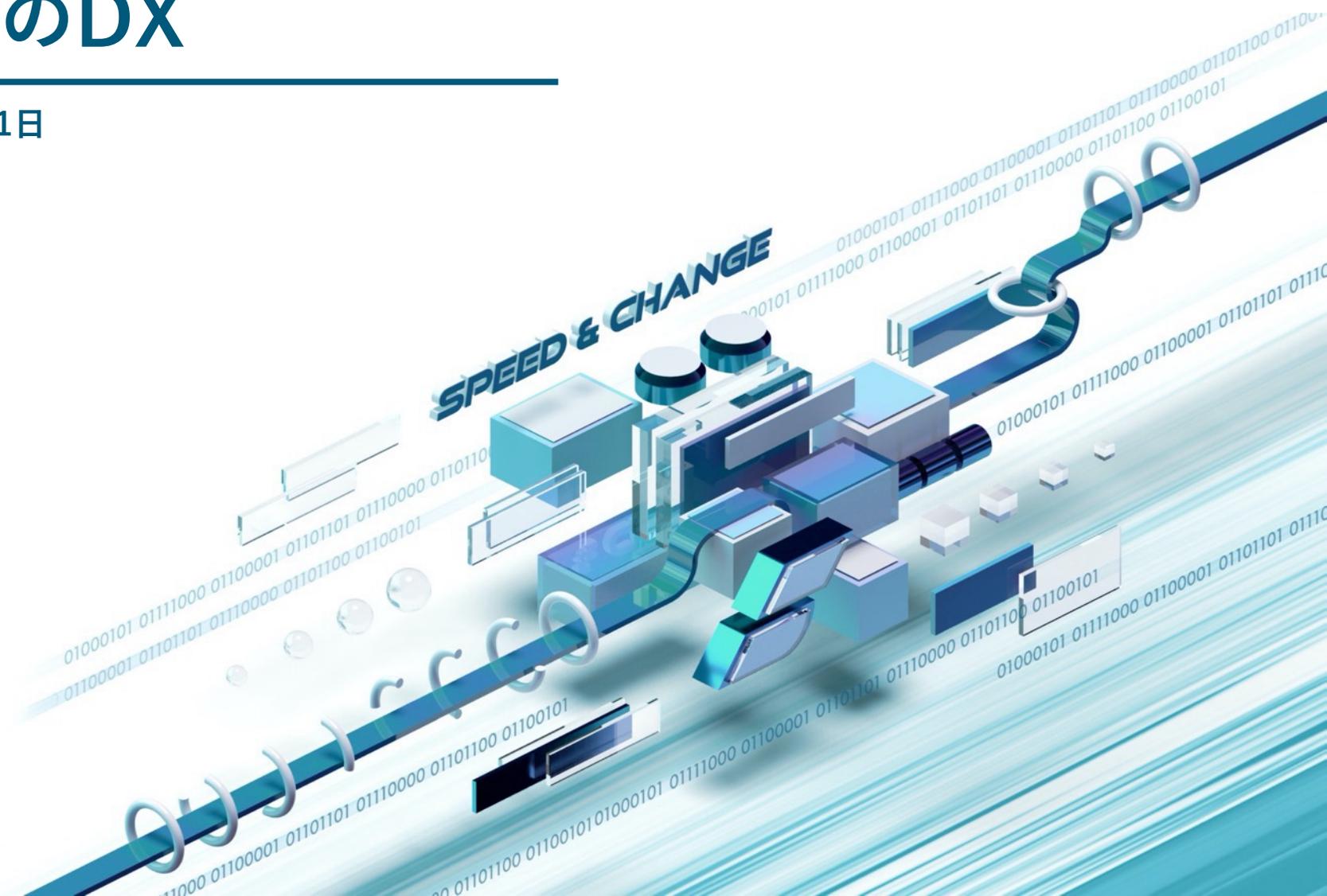


ソフトクリエイトのDX

株式会社ソフトクリエイト 2024年2月1日

株式会社ソフトクリエイト
代表取締役社長 林 宗治

 **SOFT CREATE**



目次

- ソフトクリエイイト ～ 私たちの取り組み
- ソフトクリエイイトのDX戦略
- DX戦略実現のための推進体制
- DX戦略実現のための環境整備
- DX戦略実現のための達成状況に関わる指標
- DX戦略の推進状況

ソフトクリエイト ～ 私たちの取り組み

ソフトクリエイトのミッション

共に未来を切り開く

テクノロジーを通じて常にお客さまに寄り添い、人がより人間らしく誇りを持って仕事ができる社会の実現に貢献。

技術進化による顧客ニーズの多様化により、ベンダとして果たす役割・ソリューションも従来のIOT基板の提供だけではなくより柔軟性が求められるようになってきました。

我々のミッション（共に未来を切り開く）を達成するため、このような環境の変化をとらえ、ソフトクリエイトにおいてもより多方面で顧客に寄り添ったビジネス転換が必要になってきているので顧客データの一元化を行い顧客のニーズを素早く捉えサービスを提供していく必要があります。

我々は、部門の垣根を越え、顧客データ、提供する技術リソースや販売データ等をデジタル化しビジネス情報を集約・統合し、データ活用を実現する全社プロジェクトとして”Oneソフトクリエイト構想”を中心にシステム刷新を図り、データドリブン経営を実現を目指しております。

ソフトクリエイトはより社会のニーズにマッチした新しい価値のITサービス事業を創出し、SMB市場におけるDXプライムベンダーへの変貌を遂げていきます。

ソフトクリエイイトのDX戦略

Oneソフトクリエイイト構想を通して、より社会のニーズにマッチした新しい価値のITサービス事業を創出していきます。

Oneソフトクリエイイト構想 によるシステム刷新

情報の集約を進めデータドリブン経営でコア業務に集中しお客様の
のこれからのビジネスに貢献し続けるための仕組み作り

お客様との接点を増やすためのデータ活用推進

お客様に関する情報や、販売情報、マーケティング情報を一元的に管理・分析するためのプラットフォームを構築します。統一プラットフォームの構築により、以下の2つの側面から営業活動やサービス提供、アフタサポート等の一連の業務におけるお客様との接点増加を図ります。

✓ お客様の行動特性/ニーズのより正確な把握

取引状況や、サービス利用ログなどのお客様の行動に関わるデータ収集/分析を強化することで、より詳細でリアルタイムなお客様の行動特性/ニーズを把握し、お客様にとって最適な接点構築を図ります。

✓ 事務工数/情報共有時間削減によるお客様対応時間の創出

複数セクションで保持していたデータを統合することで、二重登録の防止等の事務工数を削減します。また、全セクションからのアクセスを可能とすることで、セクションを跨いだお客様情報、販売情報、サービス情報等の共有をスムーズにし、各セクションがお客様に向き合う時間を創出します。

従業員の理想的なワークライフバランスの追求

従業員の働き方に合わせて、より効率良く、安全に業務に従事するための、デジタルワークスペースを導入します。デジタルワークスペースでは、業務遂行状況の可視化と、システム面と2つの側面から、従業員満足度の向上を図ります。

✓ 業務遂行状況の可視化/改善

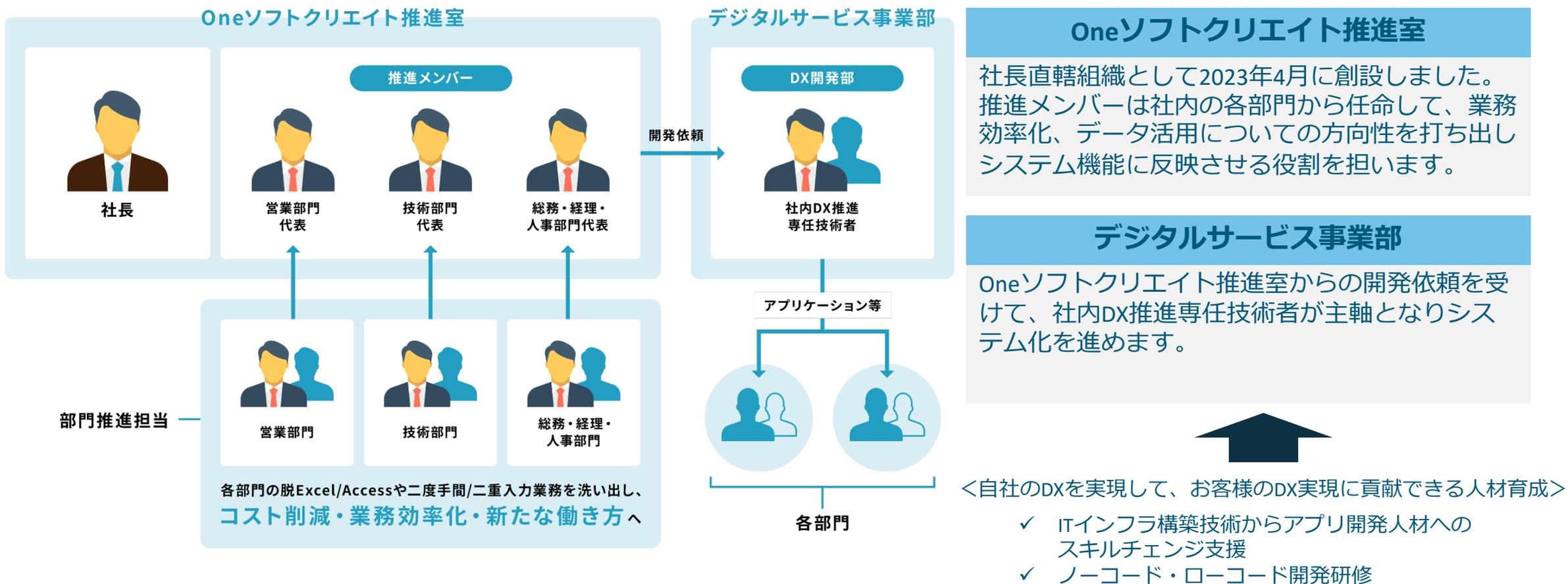
自社開発アプリ“**Havid**”を活用して、サービス提供に必要な工数や進捗阻害要因を可視化・分析を行うことで、データに基づく継続的なサービス開発・提供工程の改善を図ります。また、年1回の従業員満足度調査と、個々の業務データ、成果データを相関分析し、満足度、成果ともに継続的な向上を図っていきます。

✓ ゼロトラストセキュリティによるセキュアな作業環境の構築

ユーザ・デバイス・アプリ・ネットワーク等のデータの収集・統合・分析によって、継続的により強固なセキュリティや、高度なワークスペースを構築していきます。

DX戦略実現のための推進体制

DX推進実現のために2023年4月に創設した、「Oneソフトクリエイト推進室」を中心に、システム刷新を進めていきます。



DX戦略実現のための環境整備

DX戦略実現に向けて、ITシステム・デジタル活用環境に向けて2つの方策を推進しています。

顧客情報共有基盤の構築

今まで営業部門・技術部門で、それぞれのCRMに閉じて持っていた情報をDWHに集約します。
加えて、お客様に対するアクティビティ（見積・サービス提供、問合せ等の対応履歴）を単一のクラウドツールによって管理し、社員（特に営業社員）がお客様に対して取る行動や提供する情報の一元化を図ります。

デジタルワークスペースの提供

クラウドサービスをセキュアに利用するために、ゼロトラストネットワークを活用してIoT基盤を再構築していきます。また、再構築するIoT基盤上には働き方を可視化するツールを用いて、従業員にもモダンワークの体験を通して生産性、満足度の向上を図ります。

DX戦略実現のための達成状況に関する指標

DX戦略実現に向けて、3つのゴールを設けて達成状況を管理していきます。

GOAL
01

2024年度まで

DWH構築

2025年度まで

顧客との
情報共有基盤構築

2024年度中に、社内のデータ整理、統合基盤の構築を実施し、2025年度までに、お客様も含めた情報共有基盤の構築を目指します。

GOAL
02

間接費5%削減

デジタルワークスペースの普及、モダンワークの推進によって、現状より5%の間接費削減を目指します。

GOAL
03

DX提案機会15%増加（年間）

DXの取組みを通してデータ活用や業務効率化を進めていくことで、年間15%の事務工数削減し、お客様接点の15%上昇を目指します。

DX戦略の推進状況

Oneソフトクリエイト推進室の月次定例でKPIの進捗を確認しています。
全社朝礼で四半期毎に社員に向けて成果進捗を発表します。
年に1度DXの取り組み状況の公開ページの更新を行います。

お客様との接点を増やすためのデータ活用推進

Oneソフトクリエイト構想の初期フェーズにより、

①営業・技術のCRM統合が完了して提案活動の状態がわかる基盤整備が完了しました。

②技術のアクティビティが共有できるようになり営業がタイムリーにお客様とコミュニケーションが取れる基礎固めができました。

これから
サブスクリプション契約管理を的確に行えるようなシステム追加を行い。カスタマーサクセスに繋がる活動ができる基盤作りを24年度上半期を目途に整備をしていきます。

従業員の理想的なワークライフバランスの追求

Havidの利用により営業部員の休日・深夜の稼働状態をマネージャーが把握して無理な稼働等にならない指導を行う事ができています。

これから
Havidとの利用促進をさらに進め1on1に必要な指標が出せるような仕組み作りを24年度上半期を目途に検討します。



Copyright(C)2024 SOFTCREATE CORP.